

パリ・ユーロプラス・フィナンシャル・フォーラム

2014年11月25日

日本銀行副総裁

中曾 宏

「量的・質的金融緩和」の拡大

マネタリーベースの年間増加ペースを
「60～70兆円」から **「80兆円」** に拡大

長期国債の保有残高の年間増加額を
「80兆円」 に **「+30兆円」**

長期国債買入れの平均残存期間を
「7～10年」 に **「+3年」**

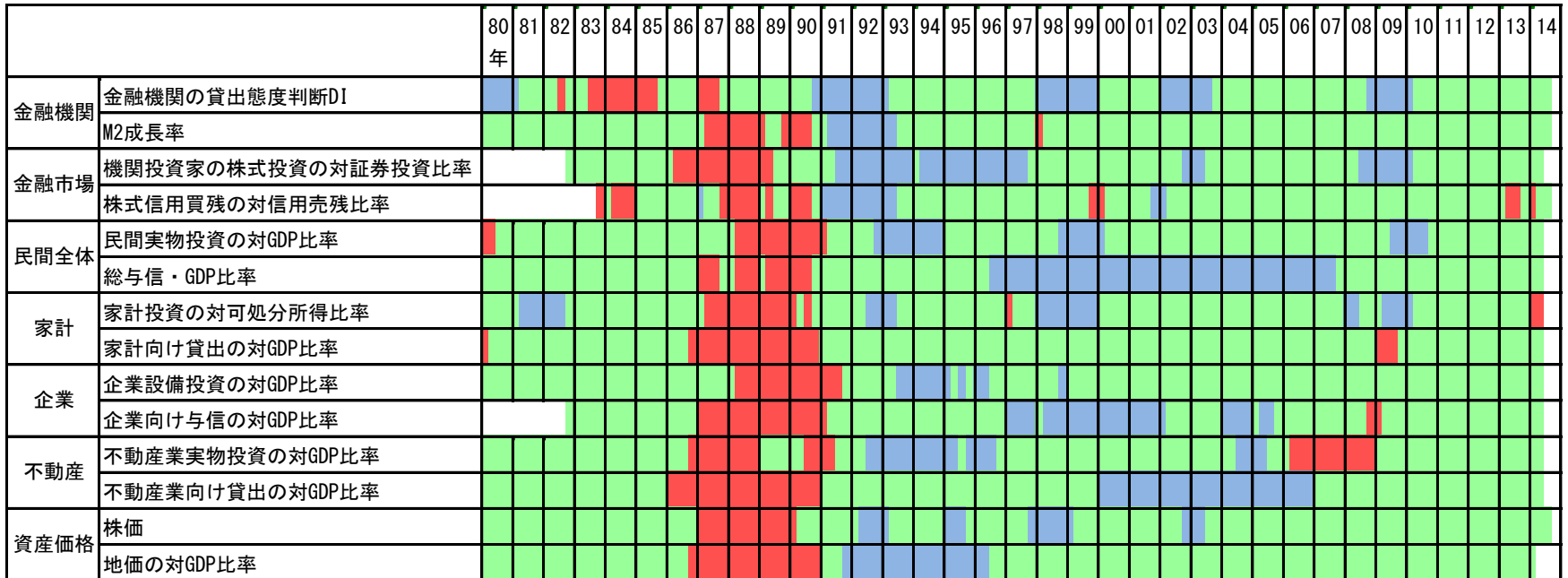
ETF、J-REITの買入れペースを **「3倍」**



これまで着実に進んできたデフレマインドの転換が
遅延するリスクを未然に防ぎ、
好転している**期待形成のモメンタム**を維持

金融活動指標¹

(図表2)



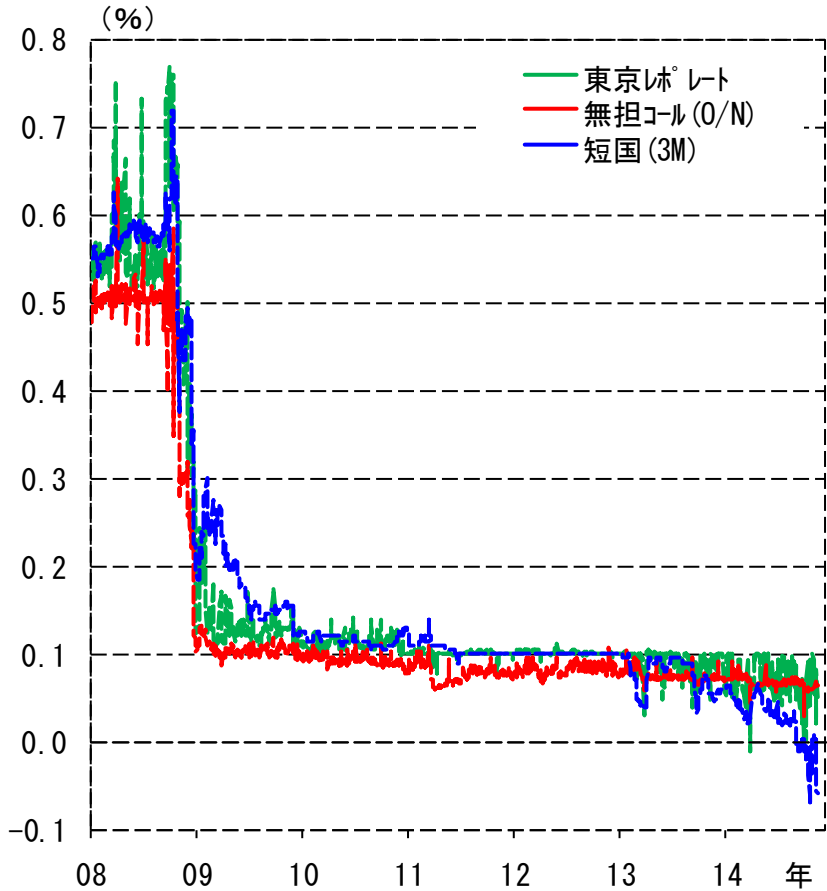
注：金融活動指標は14の金融指標から構成されており、それぞれの指標が過去の趨勢からどの程度乖離しているかによって、金融活動が過熱方向に変化しているのか停滞方向に変化しているのかを判断するものである。赤色(最も濃いシャドー)は指標が上限の閾値を超えて過熱方向に変化していることを、青色(2番目に濃いシャドー)は指標が下限の閾値を下回って停滞方向に変化していることを、緑色(薄いシャドー)はそれ以外を示す。また、白色はデータがない期間を示す。

出所：Bloomberg、財務省「法人企業統計」、東京証券取引所「信用取引残高」、内閣府「国民経済計算」、日本不動産研究所「市街地価格指数」、日本銀行「貸出先別貸出金」「資金循環統計」「全国企業短期経済観測調査」「マネーサプライ」「マネーストック」

短期金利

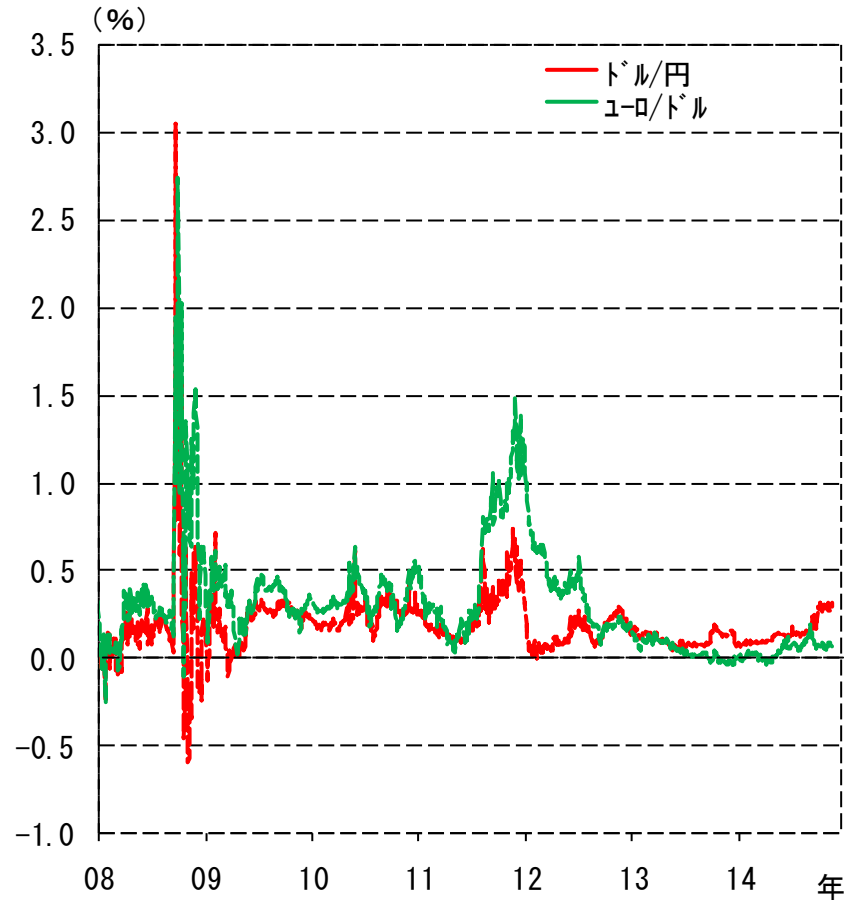
(図表3)

短期金利



出所: 日本相互証券、日本証券業協会、日本銀行

ドル転コスト対ドルLIBOR スプレッド(3か月物)

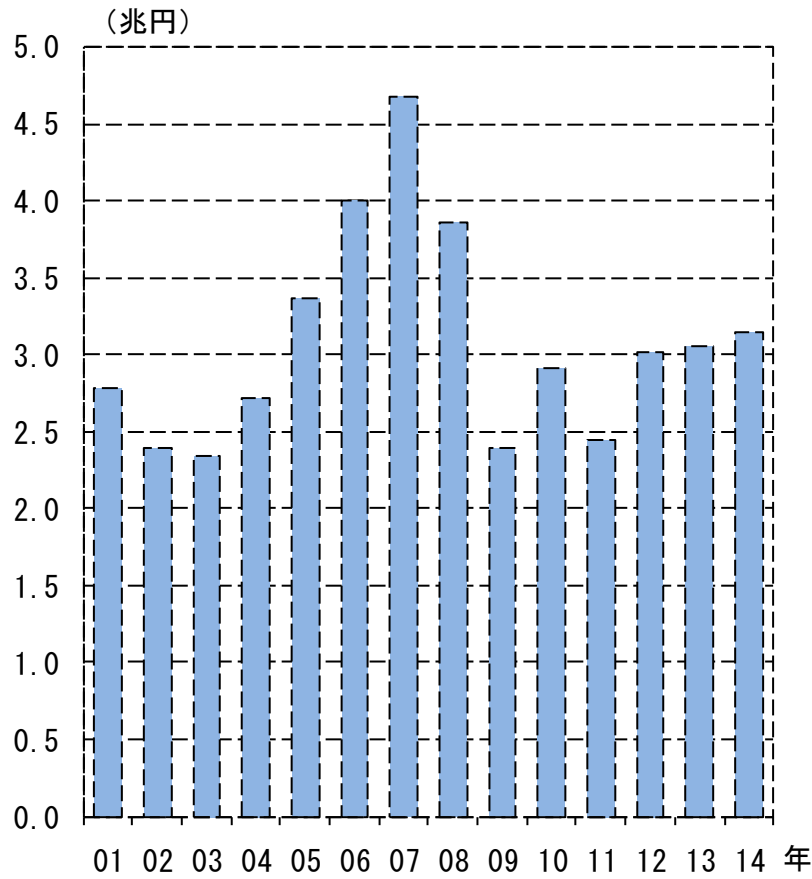


出所: Bloomberg

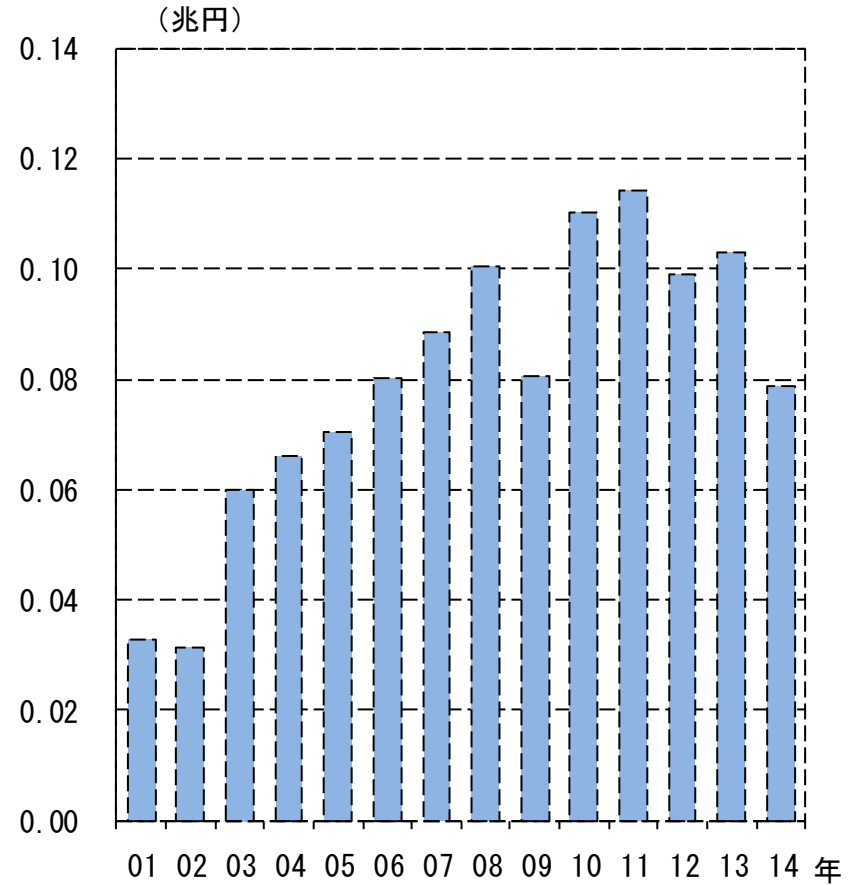
出来高(1営業日平均)

(図表4)

長期国債先物



10年新発債

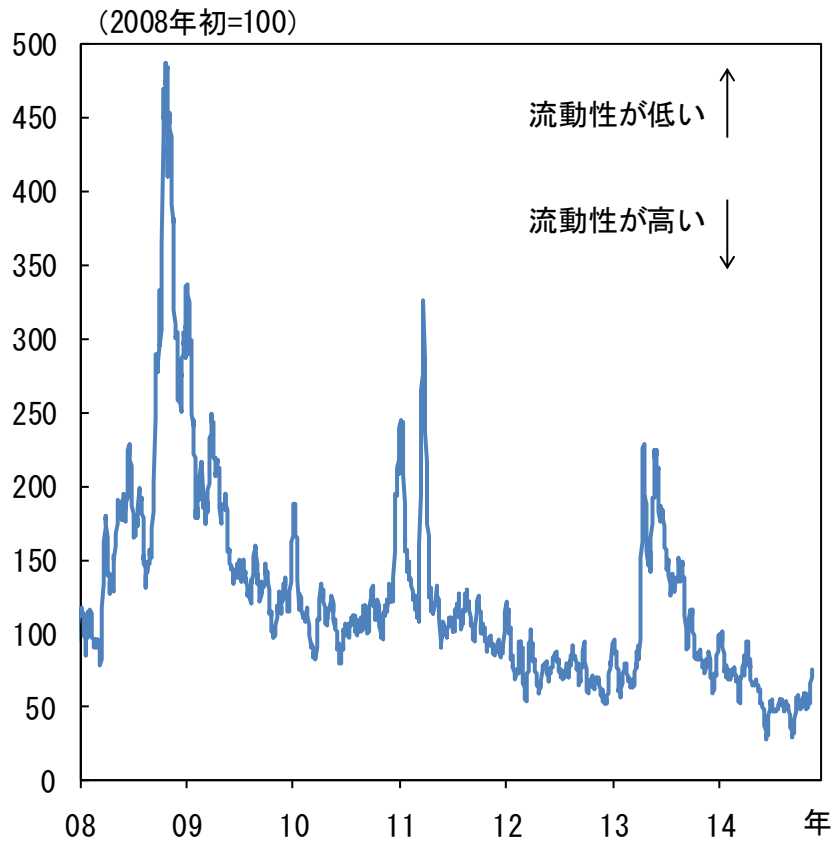


出所: QUICK

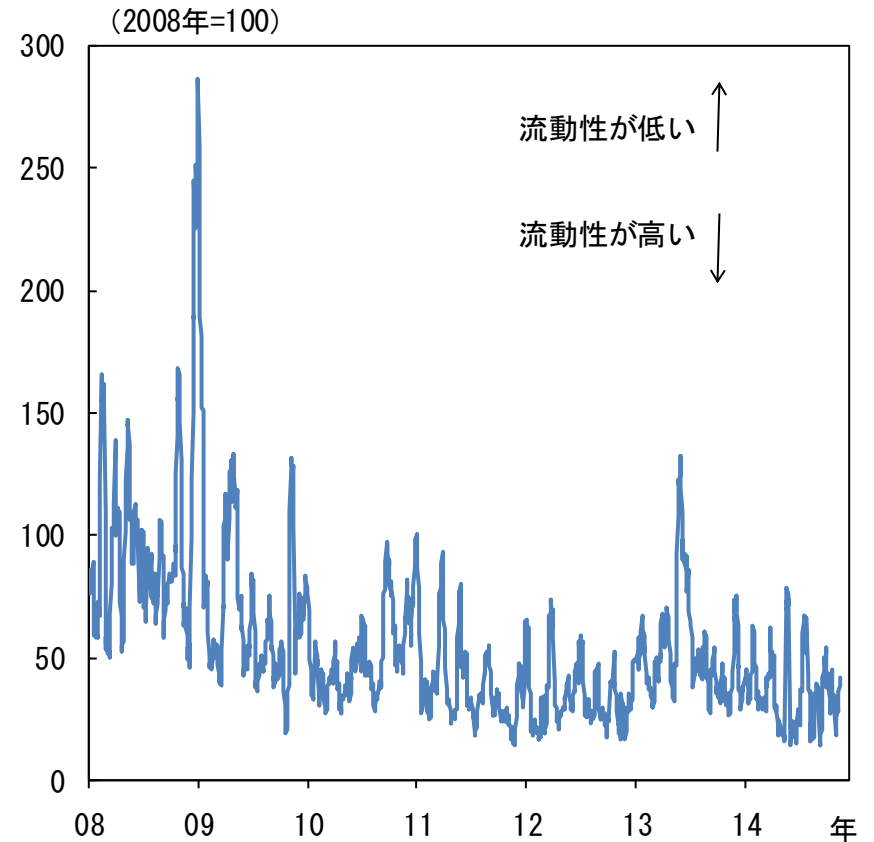
値幅・出来高比率

(図表5)

長期国債先物



10年新発債



注：後方10日移動平均。

出所：QUICK